

2019年(令和元年)7月吉日

ニュースリリース

株式会社産業タイムズ社 事業開発部
グロスバーグ合同会社 マーケティング担当

～新サービス開始のご案内～

業界紙のリソースとアナリストの分析力を融合

“5G”時代にマッチした情報・コンサル事業を展開

時下ますますご清栄の事と喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

株式会社産業タイムズ社(代表取締役:泉谷 渉)は、これまでグロスバーグ合同会社(代表社員:大山 聡)をアドバイザーとし、産業タイムズ社が展開する「社員教育出張サービス」の強化に取り組んできました。大山氏は元 IHS マーケット主席アナリストであり、半導体業界における長年の経験と実績は教育コンテンツとして大変に魅力的です。

この度、産業タイムズ社の『電子デバイス産業新聞』が取材を通して長年培ってきた情報リソースにグロスバーグの高度な知識と鋭い分析力を加えることにより、あらゆる角度から御社が抱える問題に対して的確にお応えする調査・コンサルティングサービスを提供することになりました。価格はご要望内容に応じてリーズナブルにお見積りさせていただきます。

今年には新通信規格“5G”がスタートする年であり、半導体などの電子デバイスがより身近になっていくことが確実視されています。そして世界中が新たなビジネスチャンスを求めており、企業戦略には更なる電子デバイスの知識が必要とされます。

ご興味ございましたら、下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

内容に付きましてご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

産業タイムズ社又はグロスバーグ(担当:佐野)から回答させていただきます。

専用メールアドレス:gb@sangyo-times.co.jp

【お電話での問い合わせ先】

株式会社産業タイムズ社 事業開発部内 グロスバーグ事務局 TEL03-5835-5895

※弊社主催のセミナーにて「社員教育出張サービス」にご関心をお持ち頂きました企業様に対してご案内しています。

◆◆コンテンツ例◆◆

テーマ：CASE で何が変わるのか・・・

自動車メーカーの戦略の変化

- ・クルマは単体で存在するのではなく、IoT の一部であり、情報のやり取りが重要
- ・Shared が普及するとクルマは売れなくなる？
- ・自動車メーカーが MaaS のようなサービスを提供する？

CASE が重要視される中での差別化戦略

- ・「C」は通信業者任せ、「A」は AI プロセッサメーカー任せ、「S」はサービス業者任せ、「E」は電池メーカー・モーターメーカー任せ、で良いのか？
- ・だから「S」を自分でやる？「A」を自社開発で差別化することは可能か？

車載半導体の中身が大きく変わる

- ・制御系よりも情報系の半導体の重要性がより高まる
- ・NVIDIA, Intel, Qualcomm などは Tier-1 より OEM との対話を重要視している
- ・CASE における Tier-1 の任務が変化する？半導体の選択にも影響が出る？

車載通信は 2020 年から加速する見込み

- ・5G インフラの普及が引き金になる可能性が高い
- ・通信データの内容によって新たなスポンサーが登場し、サービスが進化する

自動運転車の普及は 2025 年以降か

- ・大手自動車メーカー各社の自動運転車は 2020 年前後に出揃う見込み
- ・NVIDIA, Intel のような汎用的な AI プロセッサは実用には不向き？
- ・自動運転に必要な AI 機能はシンプルならず。自社開発で差別化できないか？

Shared は従来型ビジネスモデルを破壊する？

- ・かつて IBM はサーバーを製造販売していたが、今ではサービスが中心
- ・自動車業界にも同様の変革が訪れる？

電動化はすでにキーデバイスが決定している

- ・EV のキーデバイスはモーターと電池
- ・いずれも内製化のメリットは極めて限定的？

※上記は過去の調査事例から抜粋した見出しです。